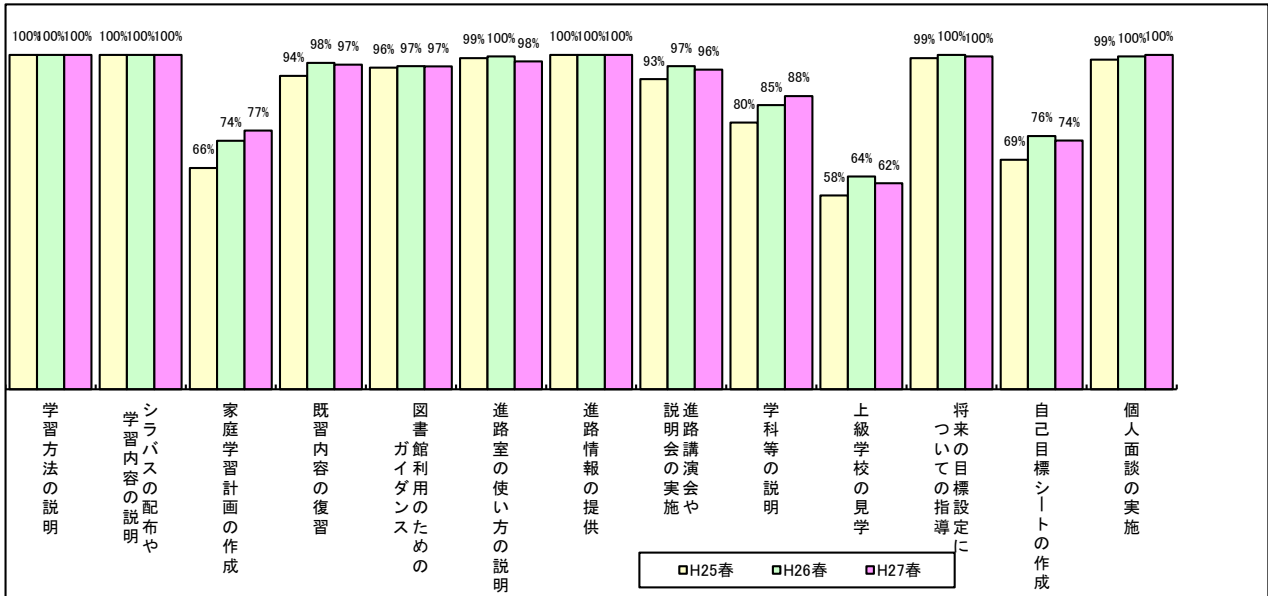


# 「北海道春の学び推進月間」(H27/4/1~4/30)における取組



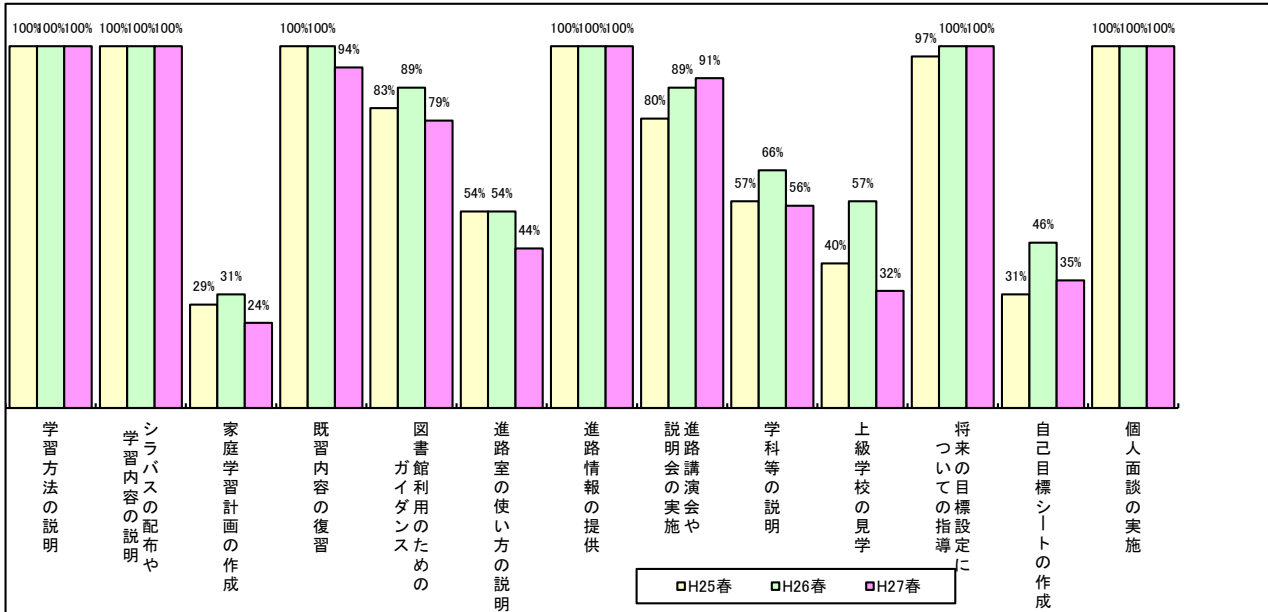
## 1 道立高校(全日制)の取組予定 203校(中等教育学校を含む)



### ○ その他特徴のある取組

- ・基礎力診断テスト等の実施
- ・義務教育段階の学び直しの実施
- ・大学と連携したeラーニングの実施
- ・朝読書、朝学習の実施
- ・家庭学習ハンドブックの配布
- ・就職適性検査の実施
- ・進路システム手帳の作成
- ・近隣校と連携した進路相談会の実施
- ・卒業生や上級生による合格体験講話、懇談会の実施
- ・企業見学、インターンシップの実施
- ・ハローワークと連携した模擬面接の実施
- ・保護者向け進路説明会の実施

## 2 道立高校(定時制)の取組予定 34校



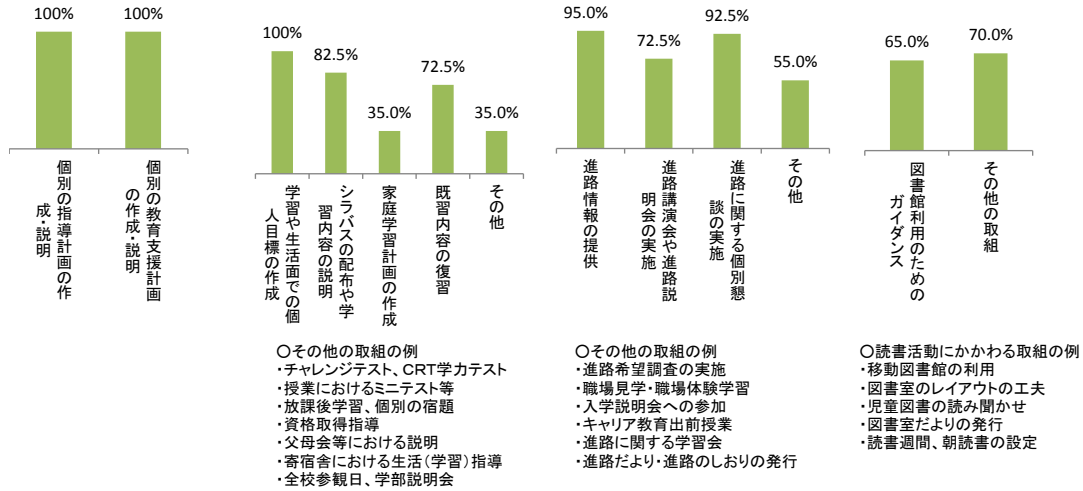
### ○ その他特徴のある取組

- ・基礎力診断テスト、基礎学力コンクール等の実施
- ・個別の学習支援の実施
- ・若者サポートステーションと連携した進路相談の実施
- ・上級生による体験講話の実施
- ・職業人へのインタビューの実施
- ・保護者懇談会の実施

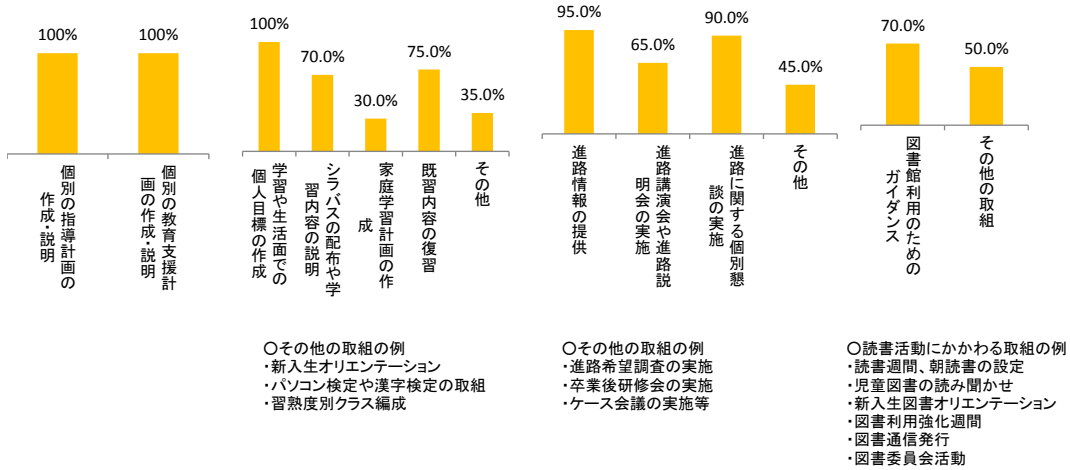
- 「学習方法の説明」、「シラバスの配布や学習内容の説明」、「進路情報の提供」、「将来の目標設定についての指導」、「個人面談の実施」はすべての高校が取り組んでいる。
- 全日制、定時制とも、ほぼ全ての項目で昨年度と同様な実施率となっている。

### 3 道立特別支援学校の取組予定状況 60校

■ 小・中学部を置く特別支援学校(視覚障がい3校、聴覚障がい6校、計9校) 40校  
 ■ 小・中・高等部を置く特別支援学校  
 (視覚障がい1校、知的障がい21校、肢体不自由6校、病弱1校、肢体不自由・病弱1校、知的障がい・病弱1校、計31校)

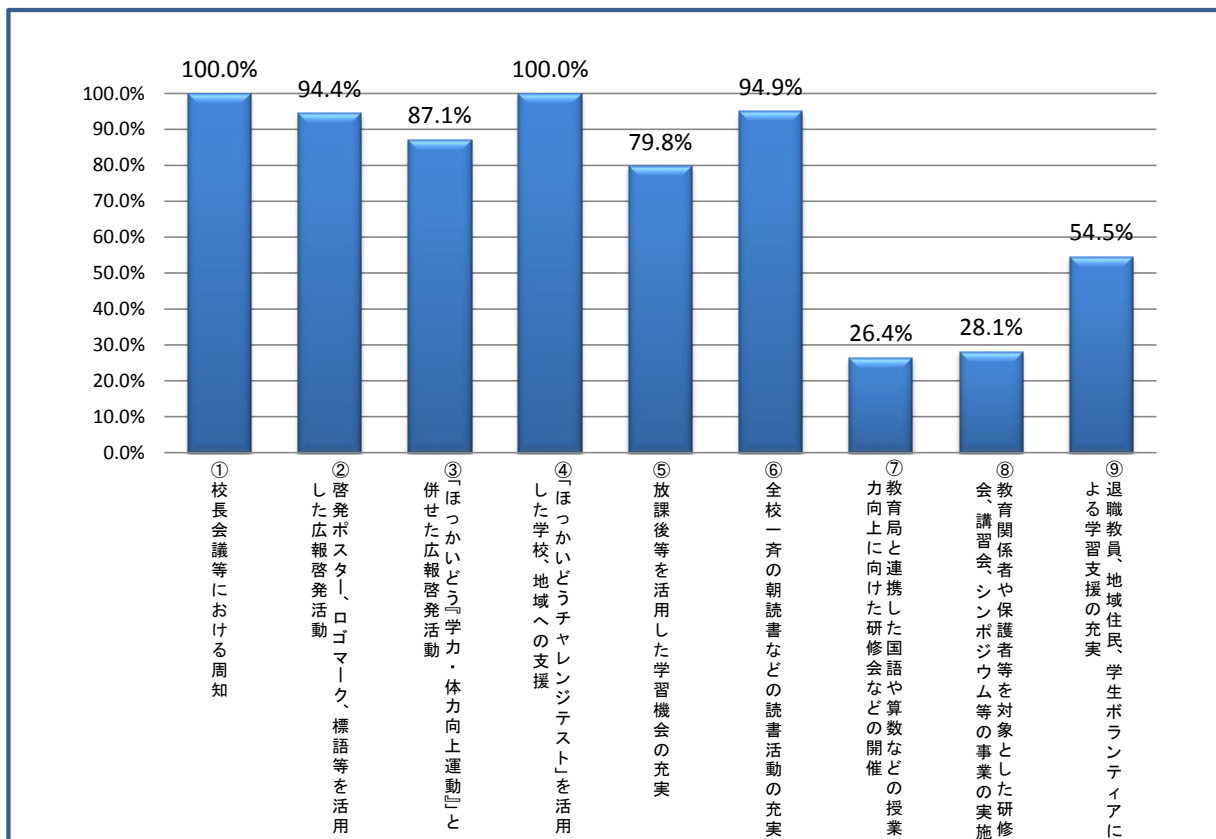


■ 高等部単置の特別支援学校(聴覚障がい1校、知的障がい18校、肢体不自由1校) 20校



○春の学び推進月間の取組については、全60校で実施予定である。  
 ○小・中学部及び小・中・高等部を置く特別支援学校においては、「個別の指導計画の作成・説明」などが100%、「進路に関する個別懇談の実施」が92.5%、「図書館利用のためのガイダンス」が65.0%の学校で取り組む予定としている。  
 ○高等部単置校においては、「学習や生活面での個人目標の作成」が100%、「進路情報の提供」が95.0%、「図書館利用のためのガイダンス」が70.0%の学校で取り組む予定としている。

#### 4 市町村教育委員会の取組予定 178市町村



#### 【その他特徴のある取組(予定)例】

- ・ 小・中学校合同の指導方法等に関する研修会の実施
- ・ 町内の全ての学校で取り組む学習規律の徹底
- ・ 移動図書館や地域ボランティアによる読み聞かせ等の実施
- ・ 週末や長期休業中における補充的な学習サポートの実施
- ・ 公民館等へのチャレンジテストの配置
- ・ 図書館等と連携したブックフェスティバルの開催
- ・ 学習習慣や生活習慣の確立に向けた啓発資料の家庭や児童生徒への配付
- ・ 家庭学習の手引の全家庭への配付
- ・ 教職員を対象にした新体力テストに関する講習会の実施
- ・ 保護者・地域住民を対象とした子どもの学びをサポートする地域学習会の開催
- ・ 家庭学習用ドリルワークの児童生徒への配付
- ・ 「どさんこアウトメディアプロジェクト」と連動した望ましい生活習慣の確立の取組

○ 春の学び推進月間の取組については、178市町村全てで実施予定である。

○ 「校長会議等における周知」、「『ほっかいどうチャレンジテスト』を活用した学校、地域への支援」については、秋の取組と同様に実施予定が100%である。

○ 「全校一斉の朝読書などの読書活動の充実」、「啓発ポスター、ロゴマーク、標語等を活用した広報啓発活動」、「ほっかいどう『学力・体力向上運動』と併せた広報啓発活動」などの実施予定率が高い。

● 「教育関係者や保護者等を対象とした研修会、講習会、シンポジウム等の事業の実施」、「教育局と連携した国語や算数などの授業力向上に向けた研修会などの開催」の実施予定率が低い。